

社会医療法人敬愛会
「中頭病院新病院整備事業」
基本構想・基本計画

社会医療法人敬愛会 中頭病院新病院整備事業

基本構想・基本計画

．はじめに

社会医療法人敬愛会 中頭病院は、昭和55年10月に沖縄県中部地区に新たに質の良い医療を提供したいという情熱を持った医師有志による医療法人敬愛会設立がそのスタートです。昭和57年4月1日に医師7名を含む職員83名、許可病床100床で開設されました。設立以来、「敬愛の心」を理念とし、医療活動を行って参りました。これまで沖縄県中部地区の医療水準向上に努め、地域連携に基づいた急性期を中心とした医療を担ってきました。しかし、開院後28年間経過し、その間度重なる医療政策の変化とともに改築工事を重ね随時、対応して規模・機能拡大を繰り返してきております。その結果対症療法的な施設の設備となり、根本的な解決ができず、早急な整備計画の実行が求められています。さらに今後の急速に進歩する医学と、多様化しつつ増大していく医療需要にも適切に対応し、医療機能の充実強化を図り安らぎとゆとりのある療養環境を整えていきたいと考えます。

敬愛会中頭病院は平成21年3月に沖縄県で初の社会医療法人に認定されました。効率良く透明性のある法人運営と更に地域基幹病院として貢献すべく、将来を見通した病院施設及び医療機能の総合的な整備を検討しています。

今回、本院の計画に沿った提案を広く求めるために、公募型プロポーザル方式により、設計事務所及び施工会社の設計部門などからの応募を求め、最も適した設計候補者を選定し、良きパートナーとして新病院建築のサポートをしていただきたいと思います。

なお、本基本構想は病院が今後担っていく役割やそのために必要な施設内容を明確にするために策定したものです。

．整備にあたっての基本理念

- 1 がん治療（手術・放射線治療・療養環境の整備）、救急医療（循環器領域・脳神経領域・外傷など）を柱にした医療環境の整備。
- 2 増築や病棟建替えのような現在の継続ではなく、新病院として新たな発想により新しく生まれる「創造」する病院を目指す。
- 3 今後の時代を見据えた病棟編成。時代の変化に対応できるフレキシビリティを持った建物。
- 4 職員が効率良く、なお且つ快適に働ける環境づくり。
- 5 現在の財務環境で維持できる投資計画。

．新病院建設基本方針

敬愛会中頭病院は「患者さん」「地域住民」「職員」「連携医療機関」「関連企業」によって支えられており、意思決定及び責任体制に関する公平性、透明性、適法性を地域社会に対して明確化していきます。

- 1 がん治療施設の整備・強化（放射線治療・外来化学療法・療養環境の整備）
- 2 救急医療の体制整備「断らない救急」体制の確立と積極的な連携（ハード・ソフト）
- 3 高度専門医療機能の強化（手術室・ICU・HCUの整備、機能向上）
- 4 研修医教育を含む「よき医療人育成」のための施設の充実

．現在の病院の位置づけ

- 1 地域医療支援病院 : 地域における基幹病院として沖縄県中部地区で救急を中心とした急性期医療の中核を担う。
- 2 社会医療法人 : 公的な立場として4疾病5事業に取り組む法人運営を行っている。
- 3 臨床研修指定病院 : 医師の教育の場として重要な役割を果たす。
- 4 救急告示病院 : 「断らない救急」をモットーに救急搬送件数年間5000件を超える救急搬送を受け入れている。
- 5 クリニックとの連携 : 外来の大部分はちばなクリニック(1日平均患者数約1200名)に委ねており、中頭病院は紹介・時間外を中心に行っている。

．今回の整備における重点項目

ちばなクリニックとの診療機能との連携、建設費の削減、建設後のライフサイクルコストの削減、有効な延べ床面積の利用等、効率的かつ機能的な施設整備を進める。

具体的には、現状の医療機能および病床数を維持することを前提とし、患者、職員のアメニティーの向上や周辺住民にも配慮し、次の方針を進める。

1 病棟機能

急性期病院として良質な医療を提供するため、短い入院期間においても患者が不安を和らげ、安らぎと温かみを感じることができる療養環境とする。また、それぞれの患者や疾患の特性に応じた病室、病棟の整備および運用。

患者のプライバシーやQOLに配慮した施設。

患者の生活の場としてのサービスの充実。

ハード・ソフト両面からの安全性の重視。(災害時対策・院内感染・事故防止等)

2 救急に対する機能

救命救急体制充実のための整備を併せて行う。

将来、救命救急センターを視野に入れた施設整備の機能強化を図る。

3 がん医療に対する機能

外科療法、化学療法、放射線治療を用いた質の高い集学的医療を提供できる療養環境の整備を図る。

4 手術室運営に対する機能

年間手術件数5000件を超える多種多様な手術室の運営に対応できること。効率的な配置及びスタッフ動線への配慮、日帰り手術等に対応できるなどを検討する。手術室は12室程度

5 災害時に対する機能

災害時には災害拠点病院の県立中部病院を中心に災害医療の展開が行われる。当院はそれを補完する機能、また大規模災害時に災害拠点病院をバックアップできる機能を整備する。

災害時の患者受入れ体制を配慮した構造

災害時の物品および災害備蓄倉庫の整備

6 外来・検査部門の機能

がん治療の新設

放射線治療や化学療法(30床程度運用)の設置

救急・総合診療部としての診察室の整備（診察室の共同利用）

ちばなクリニックとの機能のすみ分け

一般外来はちばなクリニック、紹介外来は中頭病院で行い、地域医療支援病院として入院医療を中心に運営するため、診察室は現状より増加の計画はない。外来診察室20室程度医療情勢の早い変化にフレキシブルな対応ができるような構造。

隣接したちばなクリニックとの患者・職員の動線に配慮した構造。

7 教育・研修・離島支援に対する機能

初期・後期研修医を始め医療従事者への教育・研修を充実し、臨床研修指定病院として魅力ある病院づくりを進めるほか、その他先進医療を支えるために図書・研究室や研修室、講義室の充実を図る。

8 エネルギー供給機能

エネルギーの効率利用とコスト削減への提案。災害時のエネルギー供給確保ができる施設づくり。

9 建築後、十数年経過し増築が必要となった場合の展開性

医療技術の進歩、急速に進む少子高齢化、生活習慣病の増加による疾病構造の変化等により多様化する医療需要や医療制度の変化に効率的かつ柔軟で、数年後でも対応できる可変性の高い施設であること。

10 病院機能評価の認定基準を満たす施設整備

病院機能評価の第三者の機関である（財）日本医療機能評価機構による認定を受け、医療の質的水準について広く信頼を得ることができるよう、施設についても同機構の最新の評価基準を満たす整備を目指す。

11 その他

工期が最短可能なスケジュールの作成

施設全体のセキュリティが監理できるシステム

情報システムの再構築と個人情報保護を配慮した構造

医療従事者の執務環境の整備

更衣室・当直室・会議室・図書室・カンファレンスルーム等、職員関連施設の整備

デイルーム・食堂・売店・患者図書室等、患者サービス施設の充実

患者、職員、物品搬送動線の短縮化による効率的な病院運営の推進

・設計計画・設計と条件等

- 1 建設場所：沖縄県沖縄市知花6丁目25番5号
- 2 敷地面積：36,200 m² + 1,420 m² (37,620 m²)
- 3 地域地区：第1種中高層住居専用地域
- 4 防火地域：指定なし
- 5 法定建蔽率：60%
- 6 法定容積率：200%（一部100%の場所あり）
- 7 日影規制：あり
- 8 計画病床数：326床 全て一般病床（現行と変わらず）

8 病室

個室と多床室で構成する。(個室率40%程度・多床室は4床部屋)

多床室は基本的に4床部屋で患者一人あたりの面積を可能な限り十分確保する。(プライバシーやゆとりに配慮)

看護単位については30～40床程度で検討。

十分な広さを有した明るい食堂及びデイルーム。また患者と家族の面談室などを整備する。

9 建物および敷地利用

入院機能および収益の減少を抑えるため、工期については十分に検討する

構造については人命はもとより、収容物や建物そのものに損害を与えない構造とする

建物の高さおよび外観は近隣の環境アセスメントを十分考慮し計画する

運用効率化として既存の建物との接続の連携を考慮するとともに看護単位の検討を要する各階についてわかり易さ・受診の際の動線短縮・患者と職員の動線短縮・作業効率の向上

10 整備手順

提案により整備手順が変わってくることを想定しているが、診療機能および入院機能の維持に支障がなく、経済的および効率的な整備手法の提案

11 総建築費(予定)

外構工事を含め43億円程度を予定。(西棟の改修工事を含まない)

延床面積約24,000㎡(約7,272坪)で計画。

12 その他

現構築物の解体後の跡地利用および今後の展開性

工事期間中の近隣への配慮

療養環境に自然を取り組むなど快適性への追求(環境への配慮)

建設と設備の分離(それぞれの耐久年数の違いによる改修工事の費用圧縮)

．病院概要

【 名 称 】社会医療法人 敬愛会 中頭病院

【 所 在 地 】沖縄県沖縄市知花 6 丁目 25 番 5 号

【 経 営 主 体 】社会医療法人 敬愛会

【 理 事 長 】大山 朝弘

【 院 長 】宮里 善次

【 理 念 】・最高の医療を地域に提供

「医療人は、その道の専門家として地域の方々の健康を守る社会的使命を担っている」

・サービス精神に徹する

「いたわる心、はぐくむ気持ち、謙虚な気持ちで病院に訪れる方々に対応する姿勢」

・経営基盤の安定化

「最高の医療を提供するにも、内容の充実したサービスを提供すにも経営基盤の安定化なくしては不可能である」

・職場は人生修業の場

「私達が社会人として練られ、成長する場が病院である」

【 基 本 方 針 】 1．私たちは、信頼される医療を提供します。

2．私たちは、断らない救急につとめます。

3．私たちは、気配りのある対応につとめます。

4．私たちは、安全で質の高い医療を提供します。

5．私たちは、患者さんを含むすべての出会いに感謝します。

【 病 院 種 別 】一般

【 病 床 数 】 3 2 6 床

【 各 種 指 定 病 院 】・地域医療支援病院

・臨床研修指定病院

・救急告示病院

・D P C 対象病院

【 診 療 科 目 】 2 9 診 療 科

内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 感染症内科 血液腫瘍内科 内分泌・代謝内科(糖尿病) 腎臓内科(人工透析) 神経内科 外科 消化器外科 肛門外科 呼吸器外科 乳腺外科 心臓血管外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 産婦人科 小児科²¹ 小児外科²² 泌尿器科²³ 眼科²⁴ 耳鼻いんこう科²⁵ 麻酔科²⁶ 病理診断科²⁷ 放射線科²⁸ 救急科²⁹ リハビリテーション科

【 付 属 設 備 】人工透析 2 5 床

手術室 9 室

病歴管理棟

リハビリテーションセンター

無菌病室

画像診断センター（64列マルチスライスCT・1.5テスラMRI）

血管造影室2室

HCU16床・ICU10床

【病棟構成】	第一病棟	58床	外科系
	第二病棟	56床	内科系
	第三病棟	50床	小児科・その他
	東第一病棟	57床	整形外科・その他
	東第二病棟	58床	内科
	東第三病棟	21床	産婦人科
	I C U	10床	
	H C U	16床	

【患者数】外来361名（平成20年度）

【病床利用率】102.4%

【平均在院日数】9.7日

【施設基準】7対1一般病棟入院基本料・電子化加算・臨床研修病院入院診療加算（管理型）診療録管理体制加算・療養環境加算・重傷者等療養環境特別加算・医療安全対策加算・褥瘡患者管理加算・特定集中治療室管理料・ハイケアユニット入院医療管理料・退院調整加算・小児入院医療管理料3・栄養管理実施加算・後期高齢者退院調整加算・ハイリスク妊娠管理加算・妊産婦緊急搬送入院加算・医師事務作業補助体制加算・入院時食事療養（ ）

【職員数】833名

医師：118名 看護師：445名 コメディカル：106名
事務・その他164名

【外注委託業務】清掃・寝具・患者食・検体検査・警備（一部）・設備（一部）

【施設概況】敷地面積：36,200m²

延床面積：19,611m²

建物：鉄筋コンクリート造 5階建て

【関連施設】ちばなクリニック（外来分離型大規模クリニック）1日平均患者数約1200名
健康管理センター・沖縄がん診断センター・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション

・社会医療法人敬愛会 中頭病院の沿革

昭和55年	10月	法人設立
昭和57年	4月	中頭病院開院(100床)
59年	1月	140床へ増床 全身用CT設置
	9月	健診センター開始 160床へ増床
62年	2月	病歴管理棟新設
	9月	183床へ増床
63年	5月	東棟増築工事完成
	7月	240床へ増床 MRI設置
	10月	326床へ増床
平成2年	7月	総合病院承認
4年	4月	開院10周年
5年	11月	西棟増築工事完成
8年	6月	MRI入れ替え
9年	9月	ヘリカルCT設置
10年	7月	手術室増設
	8月	病歴管理棟増設
11年	4月	日本医療機能評価機構認定交付
	6月	新体制スタート(病院長・副院長交代)
	9月	開放型病院 施設基準取得
13年	3月	特定医療法人承認
14年	4月	開院20周年
	11月	ちばなクリニック(外来分離)開設
15年	2月	救急病院認定
	6月	新体制スタート(院長・副院長・看護部長)
	10月	院外処方開始
	12月	救急センター改装
16年	2月	厨房改装
	3月	画像診断センターオープン(16列マルチスライスCT・1.5テスラMRI)
	4月	臨床研修指定病院
	5月	DPC導入
	6月	医療機能評価機構 認定
	11月	地域医療支援病院 認定
17年	9月	64列マルチスライスCT設置
18年	5月	一般入院基本料7:1施設基準取得

- 10月 手術室2室増室
- 11月 フィッチ格付け「A-」付与
- 19年 4月 レセプトオンライン請求開始
- 20年 1月 アンギオ装置増設
- 3月 HCU(16床)・ICU(10床)増床
- 12月 沖縄県施設内完全禁煙施設認定
- 21年 3月 社会医療法人認定

・職員構成 平成21年4月現在

医師	118	理学療法士	12
看護師	396	作業療法士	6
保健師	13	言語聴覚士	2
助産師	26	歯科衛生士	1
准看護師	10	臨床心理士	1
看護助手	35	介護福祉士	3
放射線技師	19	保育士	11
薬剤師	22	ケースワーカー	4
臨床検査技師	23	営繕	5
臨床工学士	8	事務員	103
管理栄養士	6	助手	9
			<u>合計833名</u>

・診療情報

中頭病院

	単位	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	
入院	延べ患者数	人	116,600	115,422	116,573	122,402	122,066
	1日平均	人	319	316	319	334	334
	病床利用率	%	98.0	97.0	98.0	102.6	102.4
	平均在院日数	日	10.1	9.6	9.1	9.8	9.7
外来	延べ患者数	人	112,253	122,144	105,190	112,093	108,586
	1日平均患者数	人	378	413	355	380	368
救急搬送件数		件		3,178	4,234	4,665	5,054
手術件数		件	3,365	3,899	4,384	4,810	5,528

- ・これまでの検討
- ・現行の病院概要
- ・現況平面図

別添(資料6補足資料)参照